

配付資料1の2ページ目「地域密着型（介護予防）サービス受給者数」において、要介護4が12名減少していることの要因について

→ 比較の対象となった平成23年と平成24年の10月提供分において、継続して同じ被保険者が地域密着型サービスを利用しているというケースは受給者数9名中8名でした。1年の間に介護認定区分が変更になった方、他の介護サービスへ変更なされた方、亡くなった方など、様々な要因により受給者数に変更が生じた結果、12名の減少だったものと理解しています。